

# 自分の影と鬼ごっこしよう

企画調整局参事  
前 青少年センター主幹

松田 亜世

ほら、西の空を見てごらん。真っ赤な夕日!!

夕焼けって、とっても綺麗だね。日が沈むと必ず夜になって、一日が終わってしまう淋しさはあるけど、また朝になると、お日さまは朝日となって昇ってくるよね。そうやって、お日さまは毎日毎日昇っては沈んで、昇っては沈んでを繰り返して、一日も休まず私たちに光を届けてくれる。

こんどは、お寺のお堂の真ん中を見て欲しいんだけど、そこにはどなたが立っておられますか??

そつ、ののさま。阿弥陀さまが立ってるね。このお寺の阿弥陀さま、座ってた時ってあった?

陀さまって、ずーっと立ってるんだよね。なんでだろう?

座って休む暇がないほど、私たちのことが心配なんだって。阿弥陀さまは一日も休まず、みんなが寝てる時も、夜も昼も立ちっぱなしで私のことを心配してくてる。「阿弥陀さま、そんなに心配しないで、たまには座って休んでください」ってお願いしても、人間のお願いなんか、ちっとも聞いてくれないで、阿弥陀さまは黙って、ずーっと立っておられるんだよね。まったく、お節介だよね。

そんな阿弥陀さまという仏さまは、光の仏さまともいわれてるんだよ。阿弥陀さまのお顔の後ろを見ると、まるい金色の光が見えるでしょ?あれは仏さまの光なんだ。阿弥陀さまはどんな時でも、私たちのことを照らしてくれてる。まる



## 子どもたちと聞く法話

でお日さまの光みたいだね。

そつそつ、今日はせつかく綺麗な夕焼けも見えるし、ちよつとお堂の外に出てみようか。

やっぱり綺麗だね、夕焼け。ちよつとちよつと、みんな後ろを振り返ってみて!ほら、みんなに長い影ができてるよ。右手上げてみて。

影も右手上げたね。じゃあ、左手!

お、影も左手上げたね。そしたらこんどは、走ってみようか?自分の影と鬼ごっこするよ。ヨーイドン!!

影も一緒に走り出したね。影がついてくる。ついてくる...さあ、逃げて逃げられるかな?走って走って!!

ハア、ハア... ああ、疲れた。影から逃げ切れた人はいる?

誰もいない?誰も自分の影からは逃げられなかったね。影はどこまでも私についてきた。そして、影の反対側には必ずお日さまがあったね。影ができるころには、必ず光があるんだよね。光がある限り、影からは逃げきれないってことだね。ああ、しんどかった...

お日さまの光っていつのもお節介だね。どこまでも私の影を教えてくれるんだもん。「もういいいい!!」って言っても、自分から自分の影は絶対離れないもん

ね。「あなたはそこにいる!」って、ず

ーっと教え続けてくれてるんだよね。お日さまの光って、阿弥陀さまに似てる。阿弥陀さまもお日さまの光みたいに、私たちを照らしながら、どんなことがあっても「あなたはそこにいるんだよ」って私に教えてくれてるんだよね。

悲しかったり、淋しかったりしたら、お日さまの前に立ってみるといいと思う。お日さまに照らされると、必ず自分の影を確かめられる。「ああ、私はここにいたな」ってね。

阿弥陀さまは、いつでもどこでも「みんなどこにいますか?何してますか?大丈夫ですか?」って私のことを心配してくれてるんだ。そんな阿弥陀さまの問いかけに「私はここにいますよ」ってこたえる言葉が、「南無阿弥陀仏」って言葉なんだね。

自分が一人ぼっちに思えた時は、お日さまの前に立って、「この「南無阿弥陀仏」の話を思い出して欲しい。どんなことがあっても、自分の足元を離れない自分の影を確かめたら」ああ、私はここに生きているなあ「って、「南無阿弥陀仏」とそつと声に出してみても、阿弥陀さまは、必ず私を離れずそこに居るから...

さあ、明日もお日さまの前に立って、自分の影と鬼ごっこしよう!